

令和4年度 能代市バスケの街づくり市民チャレンジ事業 認定事業一覧

申込者	ダジェ江美	千勝数馬	中野創太
事業名	バスケミュージアムNFT	のしろいち (3x3大会、クリニック)	のしろバスケットゲームミュージアム
事業内容	能代にあるバスケットボールの資源を生かして、高校バスケットボール×NFTで地域を盛り上げたい。 NFTは今後スタンダードになっていく、価値付けされたデジタルデータ。まずは能代工業で黄金時代を築いた「田臥勇太」選手にNFTを渡して、コミュニティを作り、バスケファンに無料でNFTを渡していく。そして、そのバスケファンがNFTを販売プラットフォームで転売し、収益の一部をバスケミュージアムの運営に充て、永続的に収益の一部を還元されるプログラミングを作成する。	のしろいち一部ブースにモルテンコートを展開して、3人制バスケットボール(3x3)の大会、クリニック、体験会を開催。 時期：10月29日(土) 場所：能代駅前 対象：社会人男女 ※フリースロー、スキルチャレンジ、クリニックは誰でも参加可能 目標集客数：1,000人	テレビゲームから卓上ゲーム、最新ゲームからレトロなウオーターアーケードゲームまで、ありとあらゆるバスケット関連ゲームを揃えて展示及びゲーム大会を開催する。 時期：11月～2月 対象：子どもからお年寄りまで 目標集客数：月延べ200人
無償スタッフ活動時間	100時間	100時間	100時間
補助申込金額	100千円	100千円	100千円
審査会の評価点	2.96点	3.92点	3.67点
認定の可否	否	加	加
認定に付す条件	—	—	—
審査会の主な意見、改善の提案等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に至る事前の連携が充分でない。 ・実際に運用した際の収支モデルが示されていない。 ・事業としては非常に挑戦的なので評価したい。 ・会計的な処理として、個人が組織なのか整理しておくが良い。 ・バスケの街への貢献、他団体との連携が見えづらかった。 ・内容は評価できるが、係の経費が不透明で、不安がある。 ・NFT作成から、収益還元までの詳しいスキームが知りたい。 ・未知数な点もあるが、どのような効果が見られるか期待している。 ・場当たりの感じがして、本当に事業ができるか不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケミュージアムに寄ってもらえるようにしてほしい。 ・十分な安全管理のもとでの実施をお願いしたい。 ・多くのバスケ愛好家や関心のあまりない方まで拡げてほしい。 ・大会なので参加費はチームから徴収したほうが良いと思う。 ・バスケで誰でも集えて、バスケが街なかで感じられる企画だと思う。 ・家族連れが多いイベントなので、3x3を知ってもらう良い機会になる。 ・集客、PRを工夫してほしい。 ・商店街等を巻き込んだ形で取組みを継続してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・期間限定ではなく、通年で遊べるようにしてほしい。 ・楽しさを生み出す要素がたくさんある取組だと思うので、もう少し工夫やアイデアを出してほしい。 ・常設に向けて企画を進めていけば、話題になる可能性がある。 ・バスケに気軽に触れられる良い取組し続けてほしい。 ・ゲームの得手不得手、小中学生のゲーム依存の問題など、懸念される点の解消に工夫してほしい。 ・ゲームという新しい切り口からのバスケのPRだと思う。